

令和5年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 86

学校名 愛知県立知多翔洋高等学校

校長氏名 鈴木 哲之

研究責任者職・氏名	教諭・古田 喬	
研究テーマ	本校教員における ICT 活用状況について	
本年度の研究目標	<p>(1) 本校教員の ICT 活用状況についてアンケートを行い、その傾向をまとめる。</p> <p>(2) (1) をもとにして、応用した ICT 活用の研究協議会を開いて、次年度への方向付けをする。</p>	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備考 (対象生徒等)
令和5年 7月20日 7月21日 7月25日 10月18日 11月第2週 11月10日 12月20日 令和6年 1月31日 3月上旬 3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への周知と ICT 活用した授業等の準備の依頼。 ・主管校主催 第1回連絡協議会 ・県への報告 ・第1回アンケート実施 ・校内授業公開週間 ・公開授業及び研究協議会 ・第2回アンケート実施 ・主管校主催 第2回連絡協議会 ・事業報告資料提出(校内) ・主管校へ事業報告 	
研究成果の評価及び普及・還元に関する実績		
1 あいちラーニング推進事業第1回アンケート 先生方の1学期を振り返っての ICT 活用度、2学期以降 ICT 活用をどう改善していきたいかについて、アンケート実施した。		
設問1 今年度1学期を振り返って、ICT を活用して授業を行いましたか。		
1、行った 78.3% 2、行っていない 21.7%		
設問2 設問1で1と答えた方に質問します。タブレット端末等を利用した主体は誰ですか。		
1、生徒 69.4% 2、教員 30.6%		

設問3 授業で活用した ICTは何ですか。(複数回答可)

- | | |
|---|-------|
| 1、ロイロノート | 1.5% |
| 2、グーグル系 | 29.9% |
| 3、パワーポイント | 34.3% |
| 4、タブレット端末等で撮影した動画や画像 | 19.4% |
| 5、他のWEB教材
(Microsoft Teams、Good Notes 等) | 4.5% |
| 6、その他
(インターネットの記事、タブレットで調べ学習等) | 10.4% |

設問4 その授業の学習形態は何ですか。

- | | |
|----------|-------|
| 1、一斉学習 | 40.7% |
| 2、グループ学習 | 14.8% |
| 3、個別学習 | 44.5% |

設問5 設問3でどんな授業を行いましたか。(自由記述)

回答内容

- ・課題研究、調べ学習(予習を含む)、プレゼンテーション、作文など。
- ・予め用意したパワーポイントを使いながら文法理解・本文の内容理解を行った。また、時には発表資料をグーグルクラスルームで提出させた。
- ・動作分析やデータ分析。また、それらの成果発表。
- ・ビジネスマナーについてウェブで調べさせた。
- ・地学基礎にて、日本の代表的な活火山を調べ、火山の種類や溶岩の性質をまとめグループ発表をさせた。
- ・英語のパフォーマンステストで、調べ学習と発表時に聞き手に見せる資料の作成(主にパワーポイント)をタブレットで行った。最終的には5人程度のグループ内で、タブレットのスクリーンを見せながら1人ずつ発表した。
- ・実験の記録撮影、レポート作成、レポート提出。
- ・フィールド実習のレポート作成、発表パワーポイント作成、レポート提出。
- ・グループ内発表の自己・他己評価をグーグルドライブで集約する課題提出用として。
- ・選挙制度について、タブレットで各自調べさせ、レポートをまとめた。
- ・実習をする際の提供データの配布。
- ・グーグルフォームで速読クイズを実施。生徒は英文を読んで設問に答える。集計後どこに躓いたのか見えるようにした。
- ・種目(知多市でレンタルできるスポーツ器具のある中から選択)を決めて、タブレットで調べ学習をまとめて発表。その後教師役として授業を実施する。
- ・製作の作り方を視聴。
- ・式を入力してグラフを表示させ、変数を変化させることで共通点を見つけたり、グラフを動かしたりすることで視覚的理解を深めさせた。
- ・プレゼンテーションソフトを用いて、発表資料を作らせた。その後、インターネット経由で提出させた。
- ・個人またはグループでテーマを決めてパワーポイントを作成し、全体で発表した。テーマに基づいた調べ学習と発表。発表内容を補足するための写真の取り込みや挿絵の作成をした。
- ・英語での発表のため、ビジュアルエイドは有効。
- ・文章中に出てきた語句の補足(写真等)。
- ・実際の裁判事例を調べ、小説内の登場人物の罪状や量刑について考えた。
- ・授業内容のまとめ 動画、画像等の提示。
- ・国語科・「論理国語(2年)」及び「探究現代文I」の授業において、教材文をパワーポイントで黒板に投影した。
- ・パワーポイントでスライドを写して、長文解説。動画を見せる。
- ・グーグルクラスルームで音声を提出させる。
- ・産業社会と人間のテーマ別講座で、江戸時代の名古屋城下町と今の名古屋を比較しながら職業と居住区との関係性を考えさせた。

- ・グーグルクラスルームに画像を投稿し、クラス全体に共有した。
- ・画像を提示しながら、英語で描写させる活動。
- ・英文の内容をスライドを用いて英問英答。文法説明をスライドを用いて説明。

設問6 ICTを活用して、改善したい点や今後行いたい授業は何ですか。(自由記述)

回答内容

- ・生徒が主体となってICTを使用する場面を増やしたい。
- ・課題の提出。
- ・年度当初から使用していきたい。
- ・グーグルアースを利用したい。
- ・自分の発表の様子を動画で撮影したり、音声を録音したりして振り返ること。
- ・グーグルクラスルームの活用。
- ・授業の前と授業の後の生徒の意見の変化を、アンケート機能を活用してクラス全体に共有したい。
- ・体育授業で動作の動画撮影を分析して、技能向上に役立てたい。
- ・インターネットを活用した小テストを実施してみたい。
- ・実験レポートの作成や小テスト。
- ・課題の提出方法として利用してみたい。
- ・国語科において、教材文をパワーポイントで投影しながら説明をする授業。
- ・課題の提出でICTを活用してさせる。
- ・チームズ使って、1つのテーマに対する生徒の意見や考えを收拾し共有する。
- ・深い学びにつながる授業。
- ・授業内で理解度に生徒の個人差がある授業で、一斉学習形式、教科書を読んで自分で進める、WEB等で教科書と同内容のものを自分で選んで利用しながら、自分で進める等の個に応じた授業ができるようにもっていききたい。

2 あいちラーニング推進事業第2回アンケート結果

設問1 今年度2学期を振り返って、ICTを活用して授業を行いましたか。

1、行った	77.1%
2、行っていない	22.9%

設問2 設問1で 1 と答えた方に質問します。

ICTを活用して、授業改善につながりましたか。

1、つながった	71.1%
2、つながらなかった	28.9%

設問3 設問2で 1 と答えた方に質問します。

どのように授業改善につながりましたか。(自由記述、任意)

(生徒の反応、時間(進度、授業スピード等)、成績向上等)

回答内容

- ・生徒が主体的に取り組む姿が見られた。
- ・生徒の理解を深めることができた。
- ・プレゼンテーション能力の向上。
- ・授業内で板書をするのが減り、進度が早まった。
- ・生徒の反応やモチベーションにおいて改善が見られた。
- ・授業のスピードが上がった。
- ・生徒の反応がよく、自主的に授業内容に取り組んだ。
- ・黒板にプリントや資料を映すことで生徒が内容をより理解できるようになったと感じる。
- ・生徒の反応が良くなった。現在の食材の販売価格を生徒に調べさせることで価格の高騰を生徒に体感してもらえたと考えている。
- ・生徒の成果物の質が上がった。課題回収や点検の手間が減った。
- ・生徒同士の対話を促すことができた。授業に対する意欲を高めることができた。
- ・生徒自ら積極的に調べることができた。

- ・グーグルクラスルームに授業で使用するパワーポイントのPDFを貼り付けることで、欠席した生徒も何をやったのか把握することができたり、家庭で復習したり活用することができた。
- ・提出締め切りも確実に時間で区切ることができるので、提出物の期限遅れが少なくなった。
- ・生徒の発言をフィードバックしやすくなった。
- ・関連動画を見ることで、読解内容の理解が深まった。
- ・課題回収が楽になった。
- ・生徒の反応がよく、理解につながったと思う。
- ・生徒の理解度を確認しやすくなった。プリントの印刷量が減った。
- ・レポート提出の管理。
- ・図形に関しては見やすいのかなと感じた。
- ・資料が見せやすく、進度もあがった。

設問4 1学期に今後（ICTを活用した授業で）改善したいと考えていた取り組みが2学期に取り組むことができましたか。（1学期にICTを活用した授業をしていない場合も含みます。）

1、できた	22.9%
2、できなかった	39.6%
3、考えていない	31.2%
4、その他	6.2%

設問5 設問4で1と答えた方に質問します。具体的にどのような改善をしましたか。（自由記述）

回答内容

- ・授業の内容を自由に自主的に調べることができるようにした。
- ・具体的に何かというよりは、総じて改善に繋がりました。
- ・タブレットから、自由にデータ収集できた。
- ・タブレットで動画を視聴させた。
- ・グーグルクラスルームでプリントを配付し、印刷しなくてもよくなった。
- ・グーグルフォームで授業の確認クイズを行うことで、生徒全員の理解度を確認しやすくなった。○付けもしてもらえる。
- ・動画の提出など授業の幅が広がった。
- ・プリントをPDFにしてプロジェクターで映し、タブレットノートを用いて板書をした。
- ・パワーポイントを使って授業しようとした。
- ・生徒との双方向のやりとりが出来るようになった。そのことによって授業の幅が広がった。

設問6 全体にもう一度質問します。（今年度あいちラーニング推進事業の重点校となって、本校でICTを活用した授業を推進したことについて）今回の取り組みが授業改善のきっかけとなりましたか。

1、なった	47.9%
2、ならなかった	52.1%

設問7 今回の取り組みが学校全体の授業改善のきっかけになったと思いますか。

1、なったと思う	64.6%
2、ならなかったと思う	35.4%

設問8 学校としてどのような取り組みがあると学校全体の授業改善につながると考えますか。（自由記述）

回答内容

- ・各教室にプロジェクターやスクリーンを常設
- ・プロジェクターやスクリーンを毎回設置作業しなくても使える教室を増やす。（できれば全教室）
- ・教員がタブレットだけを持って授業に行けるようになること。
- ・公開授業週間などの他者の授業を見学する機会を設けること。
- ・校内（教科内）での研修や授業見学会を定期的に行う。
- ・教科内で話し合い、取り組みについて同じ見解を持つ。
- ・他教科のICT活動授業を参観。（教科会の時間に全員で1つの授業を参観し、自教科での活用方法を議論する。）

- ・定期的に教科会で実践例の共有をして、学期に一回でも教科主任者会等で他教科の実践例を紹介しあう。
- ・学校ではタブレットのみを使用させる。
- ・タブレットの不具合に対するサポート体制の確立。
- ・教員生徒含め、全員参加の授業やグループウェアの使用。個人でやったかやらなかったかではなく全員が同一のシステムを使用して行う授業。
- ・体育館や武道場へのネット環境の導入。特に体育館に導入すると授業の幅が広がる。校舎と同じ環境を整えるのが難しい場合、ポケット Wi-Fi のようなもので代用。
- ・生徒のタブレット持ち帰りを許可する。
- ・ICT を活用した授業を教科ごと、講座ごとで考え、担当者全員で実施し簡単なふり返りを行う。これを繰り返す。
- ・成績処理（3 観点）などに関わるエクセルシートの作り方講座の開講。
- ・本校は他校に比べ、十分 ICT を活用していると思う。さらに活用するのであれば、グーグルクラスルーム等の利用方法のテキストやマニュアルの整備。
- ・各教科で ICT を活用した研究授業の実施。
- ・授業動画の視聴（職員会議等で本校での活用事例を全員で見て、グループ単位で意見交換する。）。
- ・職員全員が ICT を活用した授業をやらなければならない取り組みを設ける。

3 まとめ

アンケートは、第 1 回、第 2 回ともに多くの本校教員の参加がありました。本校教員の ICT への関心の高さがわかる。様々なアプリケーションを活用した授業が行われており、同じアプリケーションでも何通りもの使い方があったことが分かった。多くの情報共有ができたので、このようなアンケートを行ったことは大きな意義があった。また、ICT を活用することにより、授業が改善されたと感じる教員が多かった。しかし、2、3 割の教員が ICT を活用できなかったり、授業改善につながらなかったりしている状況があるので、今一度本校のアンケート結果の振り返りをし、教員が ICT を活用しやすい環境づくりが必要であると感じた。

4 来年度への課題

アンケート結果から、個々の教員は ICT を活用し、授業改善につなげ、生徒の学習意欲を高めていることがわかった。しかしながら、学校全体や教科全体として ICT の活用やその方向性を共有している場面がまだまだ少ない。来年度の課題としては、学校や教科で共有できるようなマニュアルづくりや委員会や教科会など共通意識を高める場面をより多くつくる必要がある。

※ 本研究報告書は、令和 6 年 3 月 12 日までに当該地区の主管校に提出する。

※ 名古屋地区においては、旭陵高校、緑丘高校、愛知総合工科高校は昭和高校へ、守山高校、愛知商業高校、南陽高校、名古屋工科高校は天白高校へ提出する。